令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人水戸市芸術振興財団
施設名	水戸芸術館
内定額	26,277　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型（公演・人材・普及）が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　　業　　名	実施日程	実施会場
公-01	【専属楽団①】水戸室内管弦楽団 定期演奏会（現代ピアノの巨匠たち①）＆子どものための音楽会	5月16・17日／10月31日／11月1・2日	水戸芸術館コンサートホールATM／リリーアリーナMITO
公-02	【専属楽団②】新ダヴィッド同盟　第8回演奏会 & 楽団メンバーによる演奏会	9月18日／3月7日／3月22日	水戸芸術館コンサートホールATM
公-03	【専属楽団③】カルテットAT水戸　第3回演奏会＆地域活性化事業	7月17日／7月19日	水戸芸術館コンサートホールATM／茨城県立水戸飯富特別支援学校、茨城県立こども病院
公-04	【オリジナル企画】伝統芸能のススメ　邦楽公演（聲明）	3月14日	水戸芸術館コンサートホールATM
公-05	【オリジナル企画】現代ピアノの巨匠たち②（リサイタル編） 内田光子×クリスチャン・ツィメルマン	10月25日／12月14日	水戸芸術館コンサートホールATM
公-06	【プロデュース公演】新しいシェイクスピア劇の創造事業『ロミオとジュリエット』	9月20～28日	水戸芸術館ACM劇場
公-07	【プロデュース公演】水戸芸術館＋深作組『フェードラ―炎の中で―』	7月5・6日	水戸芸術館ACM劇場
公-08	【プロデュース公演】水中めがね∞ダンス公演	2月7・8日	水戸芸術館ACM劇場
公-09	【専属劇団】ファミリーシアター『大どろぼうホッツェンプロッツ』	11月23～30日	水戸芸術館ACM劇場
公-10	【専属劇団】「ゆうくんとマットさん」新作公演とおはなしキャリーボックス	5月2～6日／4月19日～3月14日	水戸芸術館ACM劇場／水戸芸術館内無料スペース
公-11	【オリジナル企画】伝統芸能のススメ	4月5日／4月19日／9月7日／10月5日／10月11日／1月25日／1月29日／3月1日	水戸芸術館ACM劇場
人-01	【専属楽団】専属楽団メンバーによる器楽セミナー	7月19日／1月10日	水戸芸術館コンサートホールATM
人-02	市民のためのオルガン講座	7月27日～3月28日	水戸芸術館エントランスホール、コンサートホールATM
人-03	地域の演奏家の育成・支援プログラム「茨城の名手・名歌手たち」とその関連事業	6月28日／8月30日／11月9日	水戸芸術館コンサートホールATM、エントランスホール
人-04	リーディング・プロジェクト	9月13日～12月14日	水戸芸術館ACM劇場、リハーサル室等
人-05	水戸子どもミュージカルスクール	5月18日～3月22日	水戸芸術館ACM劇場、リハーサル室
普-01	【専属楽団】中学生のための音楽鑑賞会	2月4～6日	水戸芸術館コンサートホールATM
普-02	パイプオルガンによる音楽体験＆鑑賞プログラム（0歳～未就学児～全世代）	4月12日～3月15日／5月26日～2月16日／8月11日	水戸芸術館コンサートホールATM、エントランスホール
普-03	水戸の街に響け！300人の《第九》（全世代参加型企画）	9月7日～12月7日	水戸芸術館広場、コンサートホールATM
普-04	朗読スタジオ	5月10日～2月23日	水戸芸術館ACM劇場、リハーサル室
普-05	【専属劇団】小学生のための演劇鑑賞会	11月19日～28日	水戸芸術館ACM劇場
普-06	地域交流プログラム	5月29日～2月1日	水戸芸術館ACM劇場、リハーサル室等

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業	92	85	116
	公演事業	42	40	54
	（内、本助成対象事業本数）	25	21	11
	人材養成事業	8	7	14
	（内、本助成対象事業本数）	7	7	5
	普及啓発事業	16	18	26
	（内、本助成対象事業本数）	11	8	6
	共生社会事業			
	（内、本助成対象事業本数）			
	その他　内容：　地域協力事業	26	20	22

※1　事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	0	0	0
	ホール名：コンサートホールATM　座席数：680	0	0	0
	ホール名：ACM劇場　座席数：636	0	0	0
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項目			令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数		59,027	55,176	54,584
		公演事業	24,752	21,878	30,704
		人材養成事業	2,086	2,270	4,993
		普及啓発事業	18,677	24,558	18,834
		共生社会事業			
		その他　内容：　広報活動事業	13,512	6,470	53
	貸館事業入場者・参加者数		0	0	0
	その他　内容：　地域協力事業		19,375	13,070	26,456
	計		78,402	68,246	81,040
開館日数			305	305	307
施設の利用可能日数　（＝365－（保守点検日数+休館日数））			268	280	287
施設の利用日数			191	172	231
施設の利用率(%)　（＝利用日数/利用可能日数）			71.3%	61.4%	80.5%

備考	

※2　実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	42	71	24,752	7	25		9			1
	共催・提携公演（※2）	18	26	13,925	1	12		2			3
	貸館公演	0	0	0							
	計	60	97	38,677							
令和6年度	主催公演（※1）	40	165	21,878	8	24		8			
	共催・提携公演（※2）	21	30	13,070	1	10		2		4	4
	貸館公演	0	0	0							
	計	61	195	34,948							
令和7年度	主催公演（※1）	54	115	30,704	18	26		10			
	共催・提携公演（※2）	24	30	27,013	1	12		2		6	3
	貸館公演	0	0	0							
	計	78	145	57,717							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

・公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
・入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
・有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の 設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
公-01	【専属楽団①】水戸室内管弦楽団定期演奏会（現代ピアノの巨匠たち①）＆子どものための音楽会	目標値	4,600	94.3%	来場者（定期演奏会）の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階と回答した人が95%以上	99.3% ※上位2段階の回答の合計÷（無記入を除いた）有効回答数×100で算出。以下の来場者の満足度についても同様。
		実績値	5,532	113.4%	専門家による批評掲載数	掲載5本以上で概ね高評価	『毎日新聞』2025.6.16（梅津時比古）、『音楽の友』26.1月号（矢澤孝樹）。東京公演に関して『音楽の友』25.7月号（澤谷夏樹）、『ﾓｰｽﾄﾘｰ・ｸﾗｼｯｸ』25.8月号（池田卓夫）。。さらに共同通信のWeb記事批評（25.6.2）、長谷川京介氏のWeb批評（25.5.15）。何れも高評価を得た。
公-02	【専属楽団②】新ダヴィッド同盟第8回演奏会 ＆ 楽団メンバーによる演奏会	目標値	1,360	73.1%	来場者の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階と回答した人が95%以上	99.2%
		実績値	1,429	76.8%	専門家による批評掲載数	掲載2本以上で概ね高評価	『毎日新聞』2025.10.21（梅津時比古）、『音楽の友』2026.2月号（梅津時比古）、『毎日新聞』2026.4.20（梅津時比古）、『音楽の友』2026.5月号（長谷川京介）の4本が掲載、高評価を得た。
公-03	【専属楽団③】カルテットAT水戸第3回演奏会＆地域活性化事業	目標値	400	64.5%	来場者の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階と回答した人が95%以上	99.1%
		実績値	416	67.1%			
公-04	【オリジナル企画】伝統芸能のススメ　邦楽公演（聲明）	目標値	500	80.6%	来場者の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階と回答した人が90%以上	100.0%
		実績値	701	113.1%			
公-05	【オリジナル企画】現代ピアノの巨匠たち②（リサイタル編）内田光子×クリスチャン・ツィメルマン	目標値	1,150	92.7%	来場者の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階と回答した人が90%以上	98.5%
		実績値	1,344	108.4%			
公-06	【プロデュース公演】新しいシェイクスピア劇の創造事業『ロミオとジュリエット』	目標値	1,500	77.6%	来場者の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階と回答した人が90%以上	93.40%
		実績値	985	51.0%			
公-07	【プロデュース公演】水戸芸術館＋深作組『フェードラ―炎の中で―』	目標値	500	77.6%	来場者の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階と回答した人が90%以上	79.50%
		実績値	465	72.2%			
公-08	【プロデュース公演】水中めがね∞ダンス公演	目標値	500	96.9%	来場者の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階と回答した人が90%以上	100%
		実績値	197	38.2%			
公-09	【専属劇団】ファミリーシアター『大どろぼうホッツェンプロッツ』	目標値	1,200	77.5%	来場者の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階と回答した人が90%以上	97.80%
		実績値	1,260	69.8%			
公-10	【専属劇団】「ゆうくんとマットさん」新作公演とおはなしキャリーボックス	目標値	1,200	77.5%	来場者の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階と回答した人が90%以上	96.40%
		実績値	1,390	77.0%			
公-11	【オリジナル企画】伝統芸能のススメ	目標値	2,940	93.8%	来場者の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階と回答した人が90%以上	96.70%
		実績値	2,996	95.5%			

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人水戸市芸術振興財団
施設名	水戸芸術館
内定額	26,277　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等）」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価
公-01	【専属楽団①】水戸室内管弦楽団 定期演奏会（現代ピアノの巨匠たち①）＆子どものための音楽会	入場者数・率、有料入場者数・率、評価指標の来場者（定期演奏会）の満足度において目標値を超えることができた。マルタ・アルゲリッチ、ルドルフ・ブッフビンダーの両氏との好演、ならびに地域の子どもたちとの交流プログラムは、当楽団が築いている高い評価や厚い信頼関係の証左といえる。
公-02	【専属楽団②】新ダヴィッド同盟　第 8 回演奏会 & 楽団メンバーによる演奏会	数字的な目標値はいずれも達成された。専属楽団およびそのメンバーによる公演という特色を生かし、リハーサルやピアノ選定に十分な時間をかけた結果、演奏の質が向上し、聴衆や専門家からの高い評価や満足度に結び付いたと考えられる。
公-03	【専属楽団③】カルテットＡＴ水戸　第 3 回演奏会＆地域活性化事業	入場者数・率、有料入場者数、評価指標において目標値を超えることができた。いっぽうで、有料入場者率は目標値にわずかに届かなかった。地域の教育施設・福祉施設やジュニアオーケストラへのアウトリーチ活動を大切にしつつ、収益面もさらに改善していきたい。
公-04	【オリジナル企画】伝統芸能のススメ　邦楽公演（聲明）	数字的な目標値はいずれも達成された。入場者数の高さは販売促進を兼ねた関連企画の実施と積極的な広報活動の成果であり、時宜を得た企画内容と十分な時間をかけたリハーサルが来場者の満足度に反映されたと考えられる。今後も邦楽公演に積極的に取り組みたい。
公-05	【オリジナル企画】現代ピアノの巨匠たち②（リサイタル編）内田光子×クリスチャン・ツィメルマン	入場者率、有料入場者率、評価指標のすべてにおいて目標値を超えることができた。内田光子とクリスチャン・ツィメルマンを同一年度で招聘できる日本の公共ホールは当館をおいて他にはないと自負している。それは両演奏家が当館の活動を高く評価してくれているからこそ実現できているものである。
公-06	【プロデュース公演】新しいシェイクスピア劇の創造事業『ロミオとジュリエット』	シェイクスピア劇に対して、来場者の満足度が 90%以上であり、ある一定のニーズがあることが分かる。また新規観客の開拓はしているが、実績値を見ると、集客力の強化のために今後は魅力的なキャスト、スタッフで、新翻訳という試みに具体的な評価をしていく必要がある。
公-07	【プロデュース公演】水戸芸術館＋深作組『フェードラ―炎の中で―』	ギリシャ悲劇を題材にしたドイツの現代演劇を翻訳し、日本の能舞台で上演するという新しい試みの第二弾であったが、今年度は目標集客が数字的に十分な評価と新規開拓に繋がらなかった。こうした先駆的な試みは、再度、企画を充分に練り直す必要がある。
公-08	【プロデュース公演】水中めがね∞ダンス公演	現代ダンスについては、集客にかなりの困難があることは理解しているが、集客の実績値が目標の半分程度であり今回の試みは成功とは言えない。一方で、地域の住民を巻き込んだ創造には、作品的に、制作的に、高い評価を得ており、今後のプロデュースの在り方を再検討する。
公-09	【専属劇団】ファミリーシアター『大どろぼうホッツェンプロッツ』	ファミリー層に対する演目であり、公演実施に対する高い評価は当然のものと考えているが、集客の目標値はクリアーしているが、より多くの集客が引き続き今後の課題と言える。実績値からは、有料入場者増加のために周知、告知の範囲を大幅に広げることが必要であることが明らかである。

公-10	【専属劇団】「ゆうくんとマットさん」新作公演とおはなしキャリーボックス	未就学児とその家族に対する公演という対象を明確にさせることで、次世代の創客に繋がってはいるが、レパートリーの幅をもう少し広げて、新規の観客を増やす必要があり、有料入場者の実績値には極端にそうした影響が出ていると思われる。
公-11	【オリジナル企画】伝統芸能のススメ	伝統芸能の世界において、真に実力のある落語家、狂言師を年間を通して、定期的に紹介している成果がでている。各実績値には明らかな成果が見てとることができ、また地域のニーズに応えているとも言える。継続実施すべき公演事業に位置づけている。

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（2）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

（※1）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
公演事業	●専属楽団、専属劇団の年間公演回数	●30 回以上（専属楽団６回、専属劇団 24 回）	●30 回（専属楽団 6 回、専属劇団 24 回）
	○公演事業への来場者満足度	○全公演事業の９割で、来場者満足度の目標達成	○97.5% 音楽公演（公-01～公-05）99.2% 演劇公演（公-06～公-11）95.4%
人材養成事業	●人材養成事業への参加者（育成者）数	●５事業中４事業で目標参加者数を上回る 総育成者数 235 人以上	●５事業中４事業で目標参加者数を上回った。 総育成者数 315 人
	○人材養成事業の参加者のプログラム終了後の反応	○満足度アンケートの５段階評価で上位２段階と回答した人が 90%以上	○98.3%
普及啓発事業	●普及啓発事業への参加者数	●６事業中５事業で目標参加者数を達成、 総参加者者数 15,280 人以上	●６事業中 3 事業で目標参加者数を達成 総参加者者数 14,120 人
	○参加者の反応	○満足度アンケートの５段階評価で上位２段階と回答した人が 90%以上	○86.6%
共生社会事業			

（※3）・（※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	11 事業中、実績値がすべての評価指標の目標値を上回った事業（自己評定 S）が 5 事業、一部に目標値を達成できなかった指標項目があるが全体として想定通りの成果を収めたと評価する事業（自己評定 A）が 3 事業、3 つの評価指標のうち 2 項目で目標値を達成できなかったが概ね成果があったと評価する事業（自己評定 B）が 3 事業となった。専属楽団を中心とする音楽部門の事業は、高い芸術水準を保ちながら、多くの市民に親しまれ入場者数も目標値を達成できている。一方、演劇部門の事業は、専属劇団を中心に水準の高い公演を実施しているが、多くの事業で集客とりわけ有料入場者数が目標値に到達できてなく、より多くの市民に演劇の魅力を伝え、劇場に足を運んでいただくための継続的で効果的な創客の努力が必要であると考える。

人材養成事業	
自己評価	2 つの評価指標はいずれも目標値を大きく上回り（134%と 109%の達成率）、想定以上の成果を収めることができた。 セミナーやスクール事業の講師には、専属楽団、専属劇団所属の実演家を中心に登用しており、水準の高いプログラムを実施できている（例えば、桐朋学園大学特任教授や東京音楽大学特別招聘教授などか、小中学生の器楽セミナーの講師を務めている）。その事業内容も、市民の要望を踏まえ多様である（器楽、パイプオルガン、朗読劇、ミュージカル）。さらに、地域で活躍する音楽家の活動を支援するために開催する「茨城の名手・名歌手たち」公演では、池辺晋一郎（作曲家）、小菅 優（ピアノ奏者）、堀 伝（水戸室内管弦楽団楽団長）、福永千恵子（箏奏者）、宮本文昭（元オーボエ奏者、東京音大教授）といったわが国のトップクラスの音楽家がオーディションの審査員を務め、地域の才能を発掘し、活動の助言を与えている。

普及啓発事業	
自己評価	評価指標①の参加者数は目標値に対して 92%の達成率であり、概ね目標とする成果を挙げることができたと考える。目標値を下回った大きな要因は普-01 の対象の中学生がインフルエンザの影響で 4 割程度が不参加となった為である。評価指標②の満足率も目標値に達することはできなかったが、96%の達成率であった。不達成の要因は普-01 の数値が 82.8%であったことにあるが、本事業は水戸市内の全中学 1 年生を対象とした公演である為、90%の数値目標は高い壁であるが、一層充実した公演を実施できるよう努めて参りたい。普及啓発事業全体として、専属楽団・専属劇団という資源を最大限に活用して、対象者のニーズに対応した。質の高い、独自の事業展開が実現できている。

共生社会事業	
自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・（国際プレゼンスの向上）海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・（国際交流）アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・（新たな創客への取組）在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
外国人アーティストの招聘者数（対象外事業を含む）	25 人以上	41 人 （内訳） 公-01：15 人（M.アルゲリッチ[pf]、R.ブッフビンダー[pf]、P.トーンドゥル[ob] 、R.モラレス[cl]、S .ジャコー[fl]他） 公-02： 1 人（G.カシオ―リ[vn]） 公-05：1 人（C.ツィメルマン[pf]） 対象外事業：24 人 （ウィーン少年合唱団、M.ポゴシアン[vn]）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	目標値を上回る外国人演奏家を招聘することができ、人的交流や情報交換を通して国際交流を行うことができた。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・(文化拠点) 地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携) 地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供) 次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※2）	
	・自由設定の観点（任意）（※3）	

（※2）・（※3）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※4）	目標（値）（※5）	実績（値）
●水戸市民芸術祭への市民文化団体の参加数、参加者数（対象事業外）	●85 団体、1,200 人以上	●94 団体、1,287 人
○子ども対象事業の参加率	○全ての事業で目標人数を上回る参加者を得る	○9 事業中 3 事業で目標人数に到達できなかった。しかし参加者総数では目標 10,495 人に対して実績値は 11,357 人で、108.2%の達成率となった。
◆水戸芸術館友の会（メンバーズ）の会員数	◆前年度実績より 10%増	◆6.8%増 （前年度 2,031 人、本年度 2,169 人）
◇シビックプライドの醸成	◇「地域や水戸芸術館に愛着や誇りをとても感じる」と回答する人が 70%以上（水戸市文化交流課による水戸芸術館利用者アンケートより）	◇89.1%

（※4）・（※5）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	4 つの評価指標に対し、目標を達成できたのは 2 項目にとどまるが不達成の 2 項目についても 9 割以上の達成率であった。2 番目の指標「子ども対象事業の参加率」では、普-01 事業がインフルエンザの中学校内の感染拡大により 56%の参加者となった不可抗力も含まれる。 当館は、水戸市の政策として水戸市教育員会と連携して小中学校の芸術教育の一翼を担っている。今後一層、子どもたちを対象とする事業に力を注ぎ、市民の芸術活動を支える地域の文化拠点としての役割を果たすとともに、少子高齢化による社会的な課題に対しても貢献して参りたい。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・(プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・(アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
●若年層に向けた事業数と若年層の来場者数（対象外事業を含む）	●子ども料金もしくは U-25 (25 歳以下)料金を設定している公演事業数13事業、入場者数 1,950 人以上	●公演事業数：17 事業 入場者数：1,579 人
○特別支援学校および福祉施設在籍者に向けた事業の公演数と利用者数（対象外事業を含む）	○5 公演、200 人以上	○5 公演、364 人 （内訳） 公-01：30 人 公-03 関連企画：246 人、55 人 公-09：23 人 普-01：10 人
◆子育て世代に向けた事業の来場者数	◆4 公演、1,950 人以上	◆4 公演、3,204 人 （内訳） 公-09：1,260 人 公-10：1,390 人 人-04：34 人 普-02：520 人（0 歳オルガン）

（※3）・（※4）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	指標①は目標値に及ばなかったが 81.0%の達成率であり、その他 2 項目の指標はいずれも目標値を上回る実績を残しており、概ね目標は達成できたと評価する。 0 歳児から小中学生、若年層、そして一般まで、あらゆる年齢層をカバーする多様な事業を展開した。また、劇場やコンサートホールに来場できない方たちに向けてアウトリーチ公演を行った。これらの事業展開には、専属楽団、専属劇団が中核となっており、多様な対象者のニーズをきめ細やかに事業内容に反映させると共に芸術的に水準の高いオリジナル公演を提供できている。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※２）
	・ ・ ・

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。

●公-06「新しいシェイクスピア劇の創造事業『ロミオとジュリエット』」では県内在住在学の大学生を中心としたアンサンブルキャストを起用したが、そのうち人-05「水戸子どもミュージカルスクール」の卒業生も複数参加した。中には日本大学芸術学部で演劇を学ぶ学生もおり、彼らが育った劇場でプロの俳優と同じ舞台に立つという今後の活動につながる機会となった。

●人-01「水戸室内管弦楽団メンバーによる小中学生吹奏楽セミナー」は事業開始から 10 年以上を経て、小学生時代にセミナーを受講して講師に褒められたり励まされたりした児童のなかから、現在、音楽大学合格者、コンクール入賞者、当館の人-03「茨城の名手・名歌手たち」のオーディション合格者などが出てきている。

●人-02「市民のためのオルガン講座」を小学 4 年生の時（平成 28 年度）に受講した水戸市在住の男子児童が、その講座受講をきっかけにオルガニストになることを決意し、その後も令和元年度から令和 6 年度まで本講座を受講し、令和 7 年に東京芸術大学オルガン科に入学し、オルガニストとしての第一歩を踏み出した。

●人-03「茨城の名手・名歌手たち」のオーディションに中学生時代から 3 回にわたり合格し、後にプロになって、同じく人-03「プロムナード・コンサート EXTRA」などにも出演したことがあるヴァイオリニストが、公-01「水戸室内管弦楽団定期演奏会」においてオーケストラのゲスト奏者として出演した。

（2）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※1）・（※2）…R7年度評価補助シートから転記すること。

※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※1）	R6年度実績 受取寄付金：3275万円 受取助成金：4560万円	会員制度は、コロナ禍で会員数が減少したが回復傾向にある。 R7.3.31現在の会員数：2,031人
目標(値)（※2）	R7年度目標（予算） 受取寄付金：2500万円 受取助成金：6863万円 R8年度から新たな協賛金制度を開始する。	R7年度目標値：2,234人 （前年度10%増）
実績(値)	R7年度実績 受取寄付金：5369万円 受取助成金：4394万円	R8.3.31現在の会員数：2,169人
団体の自己評価	寄付金と助成金の合計額では目標を達成している。 「アートタワーサポートクラブ」と称し、プラチナ、ゴールド、シルバーにランク分けし、入会特典を設けた新たな寄付協賛制度を令和8年度から開始する。開始前のパンフレット案での案内で新規の支援企業を獲得できた。	10%増の目標値には到達しなかったが、会員数は増加した。 会員への各種案内の送付やダイレクトメールによる広報の他、SNSを活用した広報活動を展開した。 会員の確保は企画内容や運営方針と密接な関係があるため、組織全体で共通の目標に向かった結果と考える。

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）	隣接する水戸市民会館と共催し、公演及び広報事業等を実施した。R6 年度：11 事業	設置者の水戸市から現職の管理職（事務局長）が派遣されている。 R6 年度：市費 8 億 3600 万円
目標(値)（※2）	市民会館との共催事業を継続して行い、芸術による中心市街地の活性化を推進する。 目標数値：年間 10 事業程度	設置者からの派遣体制を継続し、行政の指導による経営改善および財源の確保を図る。 R7 年度：市費 8 億 4040 万円
実績(値)	R 7 年度： 6 事業	R 7 年度：市費 8 億 4340 万円
団体の自己評価	中心市街地の活性化を目的として、隣接の水戸市民会館との共催事業を 6 事業実施した。水戸商工会議所の調査では、中心市街地の週末の歩行者数は、コロナ以前の約 1.4 倍に増加しているとされ、当館の活動が賑わいの創出に貢献できた。 また、他館との共催により、当館の専属楽団及び専属劇団の館外公演を実施した。それぞれの財源負担により、効率的に事業を実施できたとともに、自主事業を主とする水戸芸術館を PR することができた。	設置者は、子育て政策の全般的な強化や小中学校給食の完全無償化などの教育事業に対し、財源配分を大きくシフトする方針を打ち出し、その財源は各部署の施策を徹底的に見直すこととされた。 そのような中、水戸芸術館の運営に関する予算要求は、事業費についても例年どおりに承認され、事務局費についても効率化を推進するためのシステムの導入が新規に認められる等、十二分な予算の内示を得ることができた。

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ) ～ (セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	音楽部門、演劇部門ともに芸術監督及び主任学芸員を配置している。	設置者である水戸市派遣の事務局長を配置し、行政の指導と支援を継続的に受け、安定的な運営を確保する。
目標(値)（※2）	R7 年度に芸術監督を統括する副館長をプロパーから任命し、体制を強化。	財団プロパー職員と設置者との連携を継続する。
実績(値)	副館長 1 名（音楽部門学芸員兼務）を配置した。	派遣職員：事務局長 1 名
団体の自己評価	これまで事務局が各芸術部門と個別に調整する必要があったが、統括する副館長を配置することにより、事務局との調整が円滑になった。これにより、全体的な課題への対応が効率的になり、重点的な施策に統一感をもって取り組みやすくなった。 （例：子どもを対象にした音楽、演劇、美術の合同企画等）	長期的に劇場運営を統括する、経営実務者である事務局長が配置されている。 現在は、開館以降に施工されていない大規模改修の実施に向け、改修後の水戸芸術館の運営について、設置者の水戸市の庁内会議や市議会との中長期的な運営に関する調整が行われている。

	（キ）専門人材の確保	（ク）職制の整理
評価の観点	今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	上記（オ）に加え、演劇には元芸術監督で現在劇作家として活躍中するアドバイザーを迎えて体制を強化した。	館長・芸術監督・主任学芸員・学芸員で組織し、役割と責任は財団規程により整理している。
目標(値)（※2）		R7 年度は新たに副館長をプロパーから任命し、芸術監督を総括する常勤職とした。
実績(値)	音楽部門、演劇部門のいずれも芸術監督制の下、企画・制作を行う各分野の専門性をもった学芸員を配置している。さらに、専門人材の強化という視点から、元芸術監督をアドバイザーに迎えている。	副館長を中心に監督、事務局長、係長が出席する会合を 2 週間に 1 回実施し、経営のあらゆることについて問題点を話し合うと共に、管理職と一般職それぞれの職制を恒常的にチェックしている。
団体の自己評価	高い専門性をもったスタッフを財団職員として配置して、高水準で独自の企画による事業展開が実現できている。また、これらの学芸員には、調査研究の予算と時間を与え、能力の向上を図っている。	館長が学芸部門の芸術的価値創出に係わる領域を統括し、理事長が財団全体の業務遂行を統括するという 2 体制下で、職員はそれぞれの職位・職務内容を充分に理解して、円滑に業務が遂行できている。

	（ケ）世代間バランス	（コ）ジェンダーバランス
評価の観点	年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	R6 年度新規採用職員数 3 名。	R7 年度の管理職は 8 人で内 1 人が女性管理職（12.5%）。管理職を補佐する役職は 5 人で内 3 人が女性職員である。一般職 28 人の内、女性は 17 人。
目標(値)（※2）	持続可能な組織を目指し、若者層の雇用を図るとともに、定年延長によるベテラン層の活躍の場を推進する。	小規模な組織なので、役付登用はキャリアや年齢を考慮。 目標数値：40%以上（5 ヶ年、R11 年度）
実績(値)	R7 年度は 2 名を新規に職員採用した。そのうちの 1 名は 30 台の舞台技術職員である。	女性管理職：12.5% その他役付女性職員：60% 全役付女性職員：30.8%
団体の自己評価	60 歳から 65 歳に定年を延長したため、職員の新規採用の枠が広がらず、若年層の雇用は大きく進められてはいないが、今後も世代間バランスを考慮した人材確保に努めて参りたい。	管理職に関しては、目標を下回るものの、運営に携わる役付職員の割合は目標値に達している。

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	水戸市の条例等に準じて財団規程を改正している。	実績なし。
目標(値)（※2）	育児・介護休業法の改正に伴う財団規程の改正をR7 年度第 1 回理事会で提案する。 現在、該当する職員：0 人	順守規定については設置者である水戸市の動向に合わせる。研修は水戸市への派遣とともに独自開催の検討を進める。
実績(値)	育児・介護休業等に関する規則の一部を改正した。	R7 年度の研修実施の実績はなし。
団体の自己評価	設置者である水戸市に準じて規程を整備し、３歳から小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員に終業時間等において柔軟な働き方を選択できることとした。	コンプライアンスに関する水戸市の研修への派遣については、適当なプログラムが見当たらず、R７年度は実現しなかった。財団独自に研修を行うためには、費用対効果の面で課題があるが、重要な課題として検討していく。 水戸市の庁内での注意喚起などについては、財団にも共有されるようにしており、その都度、職員に通知している。

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル･ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	R2 年度にハラスメント防止マニュアルを策定した。	フリーランス・事業者間取引適正化等法の施行に伴い、仕様書等による契約前の確認行為を徹底した後、契約締結としている。
目標(値)（※2）	R7 年度にハラスメントに関する研修会を開催する。	新規採用職員等への契約事務研修を継続して実施する。
実績(値)	R７年度中のハラスメント研修は実現できなかった。	R7 年度も新規採用職員等への契約事務研修を行った。
団体の自己評価	水戸市の研修への派遣については定員による受入れが不可となり、実現できなかった。公共施設であるため、行政と同様の研修が望ましいと考えているが、予算面での課題が多いため、別の方法を検討することにしている。	契約事務について、適正に処理ができている。毎月、公認会計士による監査を受けており、指摘事項がある場合は、各職員に通知し、改善に努めている。

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
令和 6 年 11 月に就任した片山杜秀新館長の体制下で、今日の社会状況や地域の実情を踏まえ、来るべき新時代に対応すべく、水戸でしか出会えない国際水準の芸術創造と地域の文化拠点としての役割を両立させ、市民から誇られ愛される唯一無二の文化施設を目指している。令和 7 年度は、5 つのミッションの遂行のために、11 のビジョンを設定し、その実現に向けて事業を実施した。事業評価のために設定した 20 項目の指標の実績値は、個別の事業レベルでは優劣に多少の幅があるが、総数として把握した場合、その達成率が 100%以上の指標が 13 項目、90%～99%の指標が 5 項目、80%～89%の指標が 1 項目、60%の指標が 1 項目（他館連携 10 事業→6 事業）という結果になった。この達成度を踏まえ、令和 7 年度の当館の活動については、想定通りの成果を得ることができたと評価する。 今後は、少子高齢化や昨今の国際紛争による地域経済の停滞など、地域の社会的な課題の解消により貢献するための事業展開に重点を置いていきたい。具体的には未来を担う子どもたちに向けたプログラムの強化や若者の東京圏への流出の歯止めとなり得る若年層に向けた質の高い事業の実施などである。そして、これまで以上に、多種多様なステークホルダーの要望に応えられるような高水準で効果的な幅広い活動を目指して参りたい。

備考
各指標の達成率（総数での算出）一覧 **必須データ**　●入場者数（総数）：達成率 105.5%　●有料入場者数（総数）：達成率 97.5% **評価項目①「創造性・企画性」** 〈公演事業〉●専属楽団・劇団の公演数：達成率 100% ●来場者満足度：達成率 108.3% 〈人材養成事業〉●参加者数：達成率 134.0% ●終了後の反応：達成率 109.3% 〈普及啓発事業〉●参加者数：達成率 92.4%　●参加者の反応：達成率 96.2% **評価項目②「国際性」**●外国人アーティストの招聘者数：達成率 164.0% **評価項目③「地域文化拠点機能」**●水戸市民芸術祭への参加団体・参加者数：達成率 107.3% ●子ども対象事業の参加率：達成率 108.2%　●友の会の会員数：達成率 97.1% ●シビックプライドの醸成：達成率 128.3% **評価項目④「多様性とアクセシビリティ」**●若年層向け事業・来場者数：達成率 81.0% ●特別支援学校等向け公演数と利用者数：達成率 182.0%　●子育て世代向け事業の来場者数：達成率 164.3% **評価項目⑥**（ア）多様な財源の確保：達成率 104.3% （イ）広報・営業力：達成率 97.0% （ウ）他館連携：達成率 60% （エ）設置者：達成率 100.4%